

第29回日本医学会総会 2015 関西

医学と医療の革新を目指して
—健康社会を共に生きるきずなの構築—

会頭：井村 裕夫
(京都大学名誉教授、元京都大学総長)

<学術講演>

会期：2015年4月11日(土)～13日(月)

会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
京都大学百周年時計台記念館ほか



平成26年11月11日

日本医学会分科会各位

「第29回日本医学会総会 2015 関西」参加の早期登録者が1万人を突破！ 開催5カ月前としては医学会総会史上初。 事前登録3万人の目標に向け、さらなる参加呼びかけのお願い

2015年春開催の「第29回日本医学会総会 2015 関西」は、医学・医療従事者を対象に本年4月30日(水)から開始の事前参加登録者数が1万人(10月31日現在)を超えましたので、お知らせいたします。募集開始から半年の期間で、登録者が1万人を超えたことは、明治35年から110年以上続く同総会の歴史のなかでも初めてのこととなります。

これほど注目を集めた要因としては、前回の東京における総会が大震災の影響で縮小開催となり今回8年ぶりの本格開催であることや、戦後のベビーブーム世代が65歳を超えて超高齢社会“本番”となるタイミングであることが考えられます。事実、iPS細胞に代表される再生医療、先制医療の取り組み、終末期医療、感染症のグローバル化など、今回の総会で取り上げるテーマはまさに喫緊の課題ばかりです。

今総会では、メインテーマである「医学と医療の革新を目指して—健康社会を共に生きるきずなの構築—」のもと、100を超える(座長・演者約800人に及ぶ)セッションが、医学・医療関係者に日本の医療の未来を議論する重要な場であることは間違いありません。医学は何を目指すべきか、次の世代をどう育成していくのか、医療制度をどのようにして持続可能なものにしていくのか、在宅医療や地域医療の体制をどう構築していくのか、終末期医療をどのように考えるのか、山積している問題について専門を超えて議論できる貴重な機会となります。また、医学・医療が日本の経済成長にどう貢献できるかを、産業界や一般市民も含めた多くの人が知恵を持ち寄り、職種や世代を超えて広く考える重要な場にもなります。

そのために、医学・医療関係者だけでなく、一般市民や産業界も含めてこの議論に参加することが重要であり、そのためにも多くの方にご参加いただきたいと考えております(2015年1月末までの事前登録で3万人を目標)。

皆さまには、日ごろからのご協力に感謝申し上げます次第ではありますが、多くの参加者による活発な議論がなされるよう、さらに倍旧のご助力を賜れますと幸甚です。何卒、よろしくお願い申し上げます。

** *

参加登録方法は、公式ホームページ(<http://isoukai2015.jp/>)から登録する方法と、関係先などで配布のパンフレットに添付した登録用紙をFAXでお申し込むいただく方法の2種類です。事前参加登録は2015年1月31日が締切です。参加登録料などの詳細は公式ホームページをご覧ください。

第29回日本医学会総会 2015 関西 広報担当事務局
〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634 株式会社コンベンションリンケージ内
Phone : 075-231-6383 Fax : 075-231-6354 E-mail : kouhou-s@isoukai2015.jp